令和元年度

決算報告

令和元年度決算が、令和2年かすみがうら市議会第3回定例会で認定されました。一般会計は、歳入総額193億8427万2千円で、前年度決算に比べ8・5％増。歳出総額が188億2051万8千円で11・7％増。歳入歳出差引額は、5億6375万4千円となっています。

問 政策経営課（千代田庁舎）

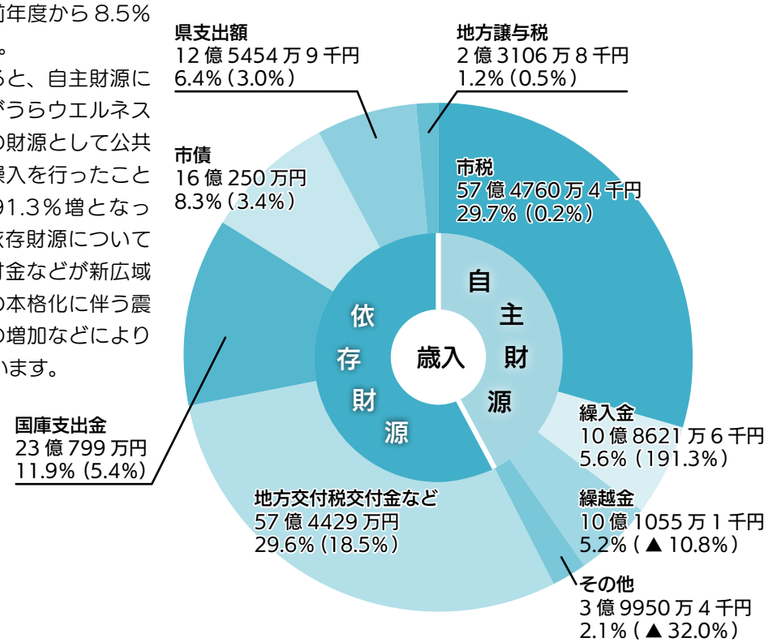
一般会計 歳入・歳出の状況

【グラフの表示】
・区分
・決算額
・構成比（前年度比）

一般会計歳入　総額 193億8427万2千円

歳入決算額は、前年度から8.5％の増加となりました。

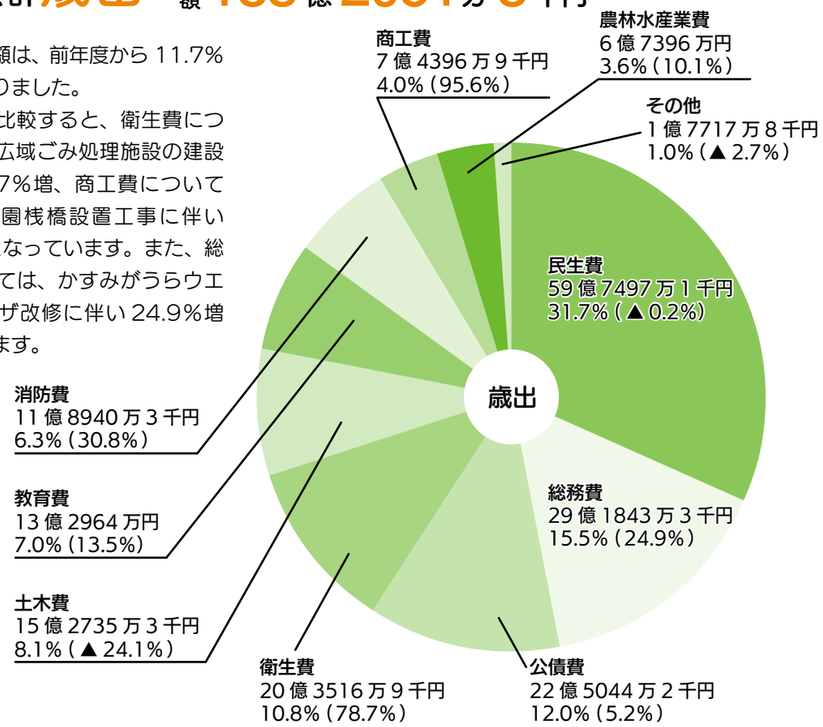
前年度と比較すると、自主財源については、かすみがうらウエルネスプラザの改修などの財源として公共施設等整備基金の繰入を行ったことから、繰入金が191.3％増となっています。また、依存財源については、地方交付税交付金などが新広域ごみ処理施設建設の本格化に伴う震災復興特別交付税の増加などにより18.5％増となっています。



一般会計歳出　総額 188億2051万8千円

歳出決算額は、前年度から11.7％の増加となりました。

前年度と比較すると、衛生費については、新広域ごみ処理施設の建設に伴い78.7％増、商工費については、歩崎公園桟橋設置工事に伴い95.6％増となっています。また、総務費については、かすみがうらウエルネスプラザ改修に伴い24.9％増となっています。



令和元年度の主な事業

かすみがうらウエルネスプラザ

歩崎桟橋

古民家江口屋

特別会計 歳入・歳出の状況

会計名	歳入（前年比）	歳出（前年比）	歳入歳出差引額
国民健康保険	44億534万2千円　（▲6.4%）	43億4573万6千円（▲7.3%）	5960万6千円
後期高齢者医療	8億2112万1千円　（3.9%）	8億1888万9千円　（4.0%）	223万2千円
介護保険	34億1032万円　（▲1.4%）	33億7314万5千円（▲0.2%）	3717万5千円

国民健康保険特別会計は、被保険者数の減および県納付金の減額に関連し歳入・歳出ともに減となっています。
後期高齢者医療特別会計は、被保険者数増加による医療負担の増に関連し歳入・歳出ともに増となっています。
介護保険特別会計は、保険給付費が増になったものの基金積立や還付事業の減に関連し歳入・歳出ともに減となっています。

財政健全化の状況

財政健全化判断比率

	本市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	13.21	20.0
連結実質赤字比率	-	18.21	30.00
実質公債費比率	9.5	25.0	35.0
将来負担比率	57.7	350.0	-

※「-」表示は赤字なし

地方公共団体の実質的な赤字や公社・関係団体などを含めた実質的な将来負担に係る指標の健全化判断比率と公営企業ごとの資金不足比率を算出し、監査委員の審査を受けて議会に報告、公表することとされています。

各比率が早期健全化基準を上回った場合は、財政健全化計画を策定し、自主的な改善努力により財政健全化を図ることになります。財政再生基準を上回った場合は、財政再生計画を策定し、国などの関与による確実な財政再生を図ることになります。本市は、早期健全化基準と財政再生基準を全て下回り、財政状況は健全段階にあります。

資金不足比率

	本市	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
下水道事業会計	-	20.0

※「-」表示は資金不足額なし

水道事業会計、下水道事業会計における資金不足額の事業規模に対する比率を公表しました。本市では、いずれの会計も資金不足比率は算出されておらず、経営状況は健全段階にあります。